

# 青白

貝塚市立二色小学校 校長室だより第53号

H24年5月16日発行

貝塚市二色1-3-1

Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

☆登下校は必ず、決められた道を通り、車や自転車には注意しましょう。友達と帰るときも、話に夢中になって車に気づかないことがあります。気をつけましょう。“見守り”、いつもありがとうございます。

## 『はい、〇〇です。』

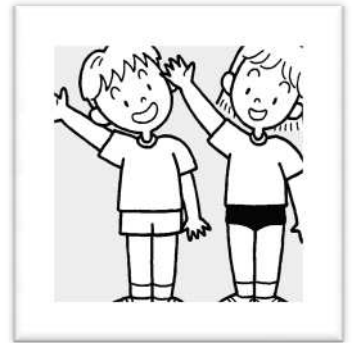
このごろ教室や廊下などを廻ったり、朝校門で「おはよう！」の声かけをしながらふと思ふことがあります。「〇〇さん、……ですか？」とたずねた時、「はい、……です。」「はい、……だったからです。」「はい、わかりました。」と、「はい」をつける子が減ったのかなあという事です。

そう言えば、電話も個人化・携帯化して、「はい、〇〇ですが……」「はい、△△でございます。どなたでしょうか？」という会話もしない子(大人も?)が多くなりましたね。

また、家族も小規模化し、親が「〇〇くん」と呼んで「はい」と言わなくても聞こえるし、返事をしないからおやつが充(あ)たらない……ということもなくなったのでしょうか。近い将来、『正しい返事』『正しい電話のかけ方』というような説明文(国語)や活動(生活・総合)が生まれるかもしれません。

だからでしょうか？集会で表彰状をもらったり、名前を呼ばれて出て行ったりする時、はっきりと『はい。』と答える子が減っているように思います。もちろん、みんなの前で大きな声を出すのは、恥ずかしいですが……。

そして、中学・高校……と進んで会社等に入ると、「近頃の若者は返事もしない！」「電話のかけ方、受け方も知らない！」と言われて、新採教育をされることになったりするのでしょうか。



5月15日(火)、H24年度  
ツートンくらぶ開講式が行  
われました。今年度の会員は  
39名、“きがるに楽しく”活動  
し“親同士も友達に”なってい  
こうと話し合われました。あな  
たもいかがですか？

しかし、これも習慣ですから、毎日やっていると何でもありません。毎日やっていると上手くなるし、お家でできていると恥ずかしがらずに教室でもできます。教室でできると、委員会やクラブ、学校内でもできます。

減ったのかなあというだけで、はっきり返事をしてくれる子も沢山いますよ。

私は、これはコミュニケーションなどという難しいものの第一歩だと考えます。「え？」「ん？」「何？」「なんで？」「だって、……やもん」「だって……したいもん」の前に、「はい。」と返事すると次も丁寧に話すことができます。理由やわけは後から言えます。

「〇〇さん、……ですか。」「はい、そうです。」「ありがとうね。」と丁寧に話す教室づくりが基本です。

「〇〇さん、……。」「うーん？何？……わかった。」「早くして！」「何でよ！うるさいなあ！」が平気にならないように、気をつけたいと思います。

くだけた場面もありますが、教師が丁寧に話す見本を示していることが重要です。教室でも、ご家庭でも、何年生まででも、つづけていきませんか？つづけるうちに普通になりますよ。叱らずにつづけてみませんか？